



# KN グローカルリサーチレポート

2023年8月  
No.88

夏の暑さが増して参りました、いかがお過ごしでしょうか。

## 【訪日客が増えてきました】

新幹線に乗りますと、大きな荷物を持つ外国人観光客が増えています。

日本政府観光局によると、訪日外客数は上半期で 1,000 万人を越えました。国別に見ると、韓国からの訪日が最も多く、次いで、台湾、米国、香港等となっています。また、中国からの訪日が減る一方で、米国やシンガポール、ベトナムからの訪日は増えています。

日本人の出国数は、2023 年上半期で約 360 万人と、コロナ前の 2019 年と比べて約 1 / 3 となっています。円安や海外の物価高などが影響していると考えられます。

■表1 2023年上期の訪日外客数と出国日本人数

	訪日外客数		出国日本人数	
	2019	2023	2019	2023
1月	2,689,339	1,497,472	1,452,157	443,105
2月	2,604,322	1,475,455	1,534,792	537,705
3月	2,760,136	1,817,616	1,929,915	694,292
4月	2,926,685	1,949,236	1,666,546	560,183
5月	2,773,091	1,898,900	1,437,929	675,661
6月	2,880,041	2,073,300	1,520,993	700,300
合計	16,633,614	10,711,979	9,542,332	3,611,246

日本政府観光局の資料より作成

■表2 訪日外客・国別順位

	2019 1~6月	2023 1~6月
1.韓国	3,862,658	3,128,500
2.台湾	2,480,849	1,770,600
3.米国	875,124	972,200
4.香港	1,097,889	909,700
5.中国	4,532,465	594,600
6.タイ	683,595	497,700
7.ベトナム	253,247	301,000
8.フィリピン	295,120	277,100
9.シンガポール	214,083	252,700
10.インドネシア	215,873	201,700

日本政府観光局の資料より作成

昨年の夏はコロナ第7派となっていました (図2 参照)。

現在、静岡県内でも感染者が増加傾向にあり「注意報レベル」となっています。

■ 図1 静岡県全体 第8派以降の1週間感染者数



■ 図2 浜松市内の感染者数 (2022年4月1日~2023年5月8日)



浜松市保健所では、『新型コロナウイルス感染症が全年齢において増加しており、ヘルパンギーナは警報レベルが続いています。インフルエンザは減少傾向にあります。感染性胃腸炎については 7 歳以下で多く報告され、RS ウイルスは 5 歳以下で発生しています。手足口病も 7 歳以下で散発しています(7 月 19 日現在)』とし、『発熱や咳症状があるときには、口や鼻を覆うか、マスクを着用し、そして、手指消毒を行う「咳エチケット」をお願いします。また、十

分な換気も引き続きお願いします』と注意を促しています。

## 管理不全空き家

### 【浜松市内の空き家】

住宅・土地統計調査（5年ごと）によると、浜松市内の空き家は46,700戸で、一戸建て以外の空き家（アパートやマンション等）がその大部分を占める。

空き家数では、中区が多いが、一戸建ての空き家が多いのは天竜区である。

### 【管理不全空き家】

2015年に施行された「空き家対策特別措置法」で、放置すると倒壊のおそれがあるなど特に危険性が高い物件を「特定空き家」に指定し、撤去できるようになった。しかし、

こうした措置は十分進まず空き家が増え続けていることから、「特定空き家」になる前の段階での対策強化として、「空き家対策特別措置法・改正法」（6月7日に成立）で、新たに『管理不全空き家』が制度化された。これにより、行政から『管理不全空き家』に指定され、状況が改善されない場合、固定資産税の減額の措置を解除される。

「特定空き家」や「管理不全空き家」とは、例えば、建物上の危険、衛生面の悪化、景観上の悪化、防犯性の低下等の空き家で、主に、一戸建ての空き家が該当すると思われる。

表5は、浜松市民からの空き家等に関する相談(苦情)の件数で、年平均110件となっている。

この相談(苦情)に対して市では、現地確認

を行い、必要に応じて所有者等へ注意喚起を行っている。

■表3 浜松市内の空き家の推移

	H20年	H25年	H30年	H30-H25
住宅数	325,300	353,600	359,600	6,000
空き家数	30,300	49,200	46,700	▲2,500
//割合	(9.3%)	(13.9%)	(13.0%)	

第2次浜松市空家等対策計画より

■表4 区別の空き家（H30年）

区	住宅数	空き家数	内一戸建て
中区	122,150	16,380	2,970 (2.4%)
東区	56,870	6,370	1,020 (1.8%)
西区	43,900	5,260	2,130 (4.9%)
南区	44,520	5,880	1,120 (2.5%)
北区	40,360	6,090	1,480 (3.7%)
浜北区	37,390	3,100	1,030 (2.8%)
天竜区	14,370	3,620	2,790 (19.4%)
-----			
浜松市	359,600	46,700	12,500 (3.5%)

第2次浜松市空家等対策計画より

■表5 浜松市民からの相談件数など

種別	H28	H29	H30	R1	R2	計	年平均
①相談件数	96	93	138	100	123	550	110
内、管理不全の建物	43	31	110	62	49	295	59
②解決件数	43	42	67	43	28	223	44
内、建物の除去	29	26	58	29	5	147	29
解決率(②/①)	44.8%	45.2%	48.6%	43.0%	22.8%	40.5%	—

第2次浜松市空家等対策計画より

2023年7月25日執筆 バックナンバー →



\*\*\*\*\* お問い合わせ \*\*\*\*\*

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org